

# Ohmi Net

No. 49  
9・10月号

おみネット



BIWA CHAN

## 淡海ネットワークセンター

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

- 発行日/2005年9月1日
- 発行所/(財)淡海文化振興財団

県民 162人  
巻頭アンケートVOL13

Anata wa donna SENIOR ni naritai desuka?

# どんなシニアになりたいですか？

### Q1.あなたはどんなシニアになりたいですか？

県民162人巻頭アンケートVol.13

- 近所が集まって寄り合いとか、スポーツ大会やハイキングなどがあれば楽しめそう。
- 日本、世界をのんびり旅行。家族に囲まれて暮らしたい。
- 出来ることなら今の仕事と180度異なる事をやりながら趣味というか自分の楽しみを満喫したい。ぜいたくな願望かも。
- 長生き願望がなくて想像がつかない。
- 亭主も、子も、孫の面倒も見ない、気楽な生活がしたい。
- 私はその時自分で楽しいと思えたらそれが一番幸せです！
- 仲のいい友達と旅行三昧。
- 今福祉の仕事をしているので、仕事をやめても市民活動で、シニアも障がい者も学生もいろんな人が集まれるたまり場づくりをしたい。
- 60過ぎても働けたらいいと思う。
- 健康で社会に必要と思われる人になりたい。
- 妻と静かで明るい家庭を作りたい。
- 晴耕雨読、農業をしながら好きな本を読みたい。
- 友だちも蓄えもない現状では、たぶん老後はみじめな姿しか思い浮かばない。
- 社会から嫌われ、邪魔者になる意地悪ばあさんでありたい。
- 老後のことは思わない。思えばみじめになるだけ。
- ジャンボ宝くじに老後を託します。
- 家庭や社会で必要とされる人でありたい。
- 趣味の山野草の栽培に1日中没頭したい。
- パソコンでも習い、インターネットで少しは認知症の防止をしなくては。
- 王貞治を超えるスーパーじいちゃんになりたい。
- おじいさん、おばあさんになっても手をつないでいられるようなかわいいシニア(^o^)
- 健康で家庭生活に協力でき、家族に慕われる様なシニアが目標です。
- 自然いっぱい山に住んで魚釣りがしたい。



第九回 「生きるとは にくやの骨のうずたかし」

木村光一(事務局スタッフ)

少し前に、定年後にしたいことを聞いたある調査結果を読んだ。その中で、一緒に旅行へ行きたい相手の第1位が、男性は妻であったが、女性は女友達だったと覚えている。男性と女性とで一緒に行きたい相手が違うのは、旅行へのイメージが違っていたのかもしれないが、消費行動から意識の特徴を把握したい設問者の感覚が気になった。

地方の隅々まで、拝金主義というか貨幣経済の大小で行動を決め、金銭で評価できないものは価値がないように扱われることが普通になってしまった。金銭で計れない生活文化が軽視されていることは、先進国と呼ばれる国だけに、とても残念だ。

日本のシニア世代を50、60歳代とするなら、人口の年齢別分布図でいえば、左右に大きくふくらんだ世代である。これまでの日本経済のなかで、大量消費の動向に影響を与えてきた団塊の世代が含まれている。

批判を覚悟で団塊の世代を評するなら、60年代の大学改革に代表される社会の変化の時代にそれぞれ主張をし、大きな影響を与えてきたが、新しい社会の形を創るには至らなかった。ならば、その多くがシニア世代となったいま、あらたな制度づくりをなせたのかどうか、あるいは、消費経済社会から循環経済社会への社会変化を起こせたのかどうか。20年後には、団塊世代の評価が固まるだろう。

常に次の社会への絶え間ない変化への対応は、これまでも取り組まれてきているが、いま社会構造の要素がこれまでと大きく変わってきているのに、十分な対応が見えてこない。今のシニア世代がシルバー世代になった頃には、社会はもっと疲弊しているかもしれない。

ならばもう一度、社会と向き合う行動が必要だと思し、次こそ、新しい社会を形づくりたいのだと、団塊世代のある知人が語った。生きるというのは、難しい。

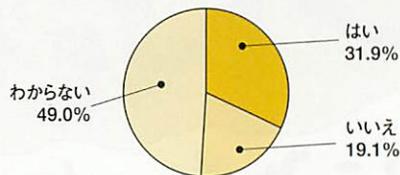
注) 平賀胤寿・木下正実著(こうち書房)の表題より



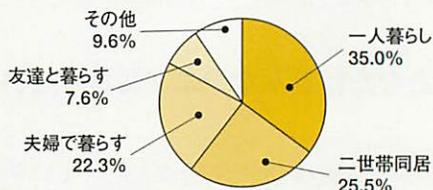
あなたはどんなシニアになりたいですか? 県民162人巻頭アンケートVol.13

▶▶▶表紙よりつづき

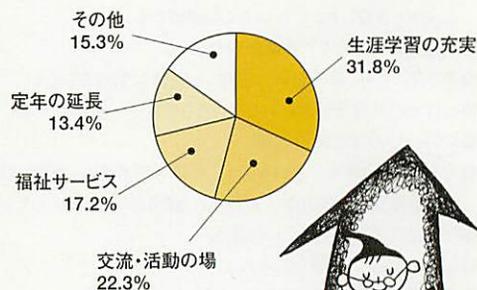
Q2.老後に楽しみにしていることはありますか?



Q3.あなたの老後の生活スタイルは?



Q4.老後をいきいきと過ごすために必要なのは?



アンケート: 携帯情報メール発信会社「j2メール」協力  
県民: 162名(回答数) 男性65名 女性77名 性別不明20名  
10代...1名 20代...30名 30代...50名  
40代...41名 50代以上...20名 年齢不明...20名

【11月号のアンケート】  
次回11月号は社会貢献をテーマにした巻頭アンケートを実施します。読者の皆さんもぜひ、アンケートにご協力ください。詳しくは「センターインフォメーション」をご覧ください。

CONTENTS

巻頭コラム●アンケートから考える

生きるとは にくやの骨のうずたかし... ①

特集・Oh!Me!Eyes  
【市民企画公募型補助金・助成金を考える】... ②

KIRARI★INTERVIEW... ⑤

- 私たち「きらり」輝いています!NPO
- 長浜観光ボランティアガイド協会「鮎の湖会」(観光)
  - NPO法人宅老所「はな」(福祉)
  - 社団法人近江八幡市シルバー人材センター  
中古自転車リサイクル事業グループ(環境)

がんばれ!NPO 応援団... ⑦

- 【めとと★コラボ】  
【おうみネット講座・寄付を考える Vol.3】  
【おうみ未来塾 リレーエッセイ】  
【NPOホームページ探検隊】

行って来て見て情報BOX  
9月・10月... ⑨

# 市民企画公募型 補助金・助成金を考える

NPOに関するアンケートなどで必要な支援策について聞くと、多くの場合筆頭に「資金援助」が上がってきます。新しい公共の担い手としてNPOへの期待が高まるにつれ、滋賀県内においても市民活動を対象とした補助金・助成金の制度を作る自治体等が増えつつあります。今回の特集ではその中でも、特に分野を限定せず広くNPOから企画提案を募る補助（助成）金について考えてみたいと思います。

## N PO向けの補助(助成)金制度が増えてきた背景

阪神淡路大震災（一九九五年）によるボランティア意識の高まりや、非営利の市民活動団体が法人格を取得することを可能にしたNPO法（一九九八年）の施行をきっかけにして、市民活動に対する認識が急速に広まりました。また、約六割の人が社会の一員として何か社会のために役に立ちたいと考えている（注1）など、地域の課題を他人や行政任せにせず、解決に向けて自らが積極的に関わりたいと願う人が増えてきています。

私的利益を追求する企業の活動は、私たちに経済的・物質的な豊かさとともに、周期的な不況やそれに伴う大量の失業や所得格差の

拡大、環境汚染等の問題をもたらしました。また、人々の暮らし方や世帯構成が多様化する中で、家庭においては母親の孤立や子どもの非行、いじめや不登校、引きこもり、老老介護やひとり暮らし老人の増加による孤独死など、これまで個人の問題、家庭の問題として扱われていた問題が社会問題として認識されるようになっていきます。これらの社会課題に取り組むNPOを社会的に支援しようとする動きが出てきたのは、自然なことといえます。

## 市 市民企画公募型補助(助成)金の特徴

NPOに対する支援の中で、もっとも直接的なものが、資金の提供です。ただ、従来型



の補助金に対して、「古すぎて補助を始めた経過が分からない」「補助の内容が時代にそぐわないのに既得権化してやめられない」「目的が不明瞭」「申請のチェックが甘い」「実績報告に対する検証がなく効果が分からない」「団体の自立（律）性を損ねている」「毎年同じ補助内容で新しいニーズに対応できていない」といった反省もあり、NPOに対する補助金は、「期間限定」「公募」「選考過程の公開」「短期的事業重視」「新規事業重視」といった傾向があります。草津市コミュニティ事業団が行っている「ひとまちキラリまちづくり活動助成」は、助成期間は最長で二年ですし、大津市のまちづくりパワーアップ事業は、新規事業であれば同一団体でも再

（注1）「社会意識に関する世論調査」（2004年1月 内閣府大臣官房政府広報室）によると、59.1%の人が「日頃社会の一員として何か社会のために役に立ちたいと思っている」と回答しています。

度採択可能ですが、支援事業自体が事業開始から三年間、二〇〇六年度をもって見直されることになっていきます。

また、NPOが行政の価値観だけで判断されるのではなく、補助を受けることでどれだけ社会に貢献できるのか、成果を社会全体にアピールし、社会から評価されることが重要と考えられます。そこで、選考の方法として公開プレゼンテーション(注2)が行われたり、審査員に民間人や有識者が加わったり、過程や結果がホームページなどで公開されたり、事業完了後の報告会が公開で開催されるなど透明性・公開性に気が配られています。

## 市

### 民企画公募型補助(助成)金の問題点

提供できる資金の額には制限があるわけで、提供者側は、その中で多くのNPOにチャンスを与えたいと考えます。また、NPOが特定の補助(助成)金に依存するようになってしまうと、市民ニーズから離れた事業になってしまったり、その資金が途絶えると活動が停止するという問題もあります。そのため、提供者側は、NPOが以前から長く行ってきた事業や組織の運営にかかる経費よりも、短期間の新しい事業に補助(助成)をする傾向があります。だからといって補助(助成)金を獲得するために目新しい事業に安易に飛びつく、それに振り回され、従来の事業も十

分できないまま組織が疲弊してしまうということになりかねません。申請する場合は補助(助成)金のしくみが自分たちの団体にあったものかをどうか考えた方がよいでしょう。

## 県

### 内の事例/滋賀県内の市民企画公募型の補助(助成)金には、次のようなものがあります。

#### ①ひとまちキラリまちづくり活動助成(二〇〇一年度)

草津市では第四次総合計画で「市民と行政の協働によるパートナーシップによるまちづくり」を掲げて、このまちづくりの基本的な考えや具体的な提案を研究するため発足した「草津市パートナーシップまちづくり研究会(学識経験者、市民、行政職員で構成)」が二〇〇一年三月に提言書をまとめました。この中で「市民によるまちづくり事業を支援するプログラムの整備が必要」との提言がされたことを受けて具体的に整備されたのが「ひとまちキラリまちづくり活動助成」です。

この助成金は、市民活動団体の立ち上げ期を支援するもので、毎年一団体10万円以内×三団体に対して助成を行っています。草津市から原資の補助を受け、草津市コミュニティ事業団が運営しています。比較的少額の助成金で申請用紙も市民活動団体が簡単に作成できるように工夫されていますが、公開ヒアリングによって選考されます。単なる資金面の



#### (注2)【公開プレゼンテーション】

補助や助成を受けたい事業の意図や計画について、審査員に対し口頭あるいは機器を使いながら説明の様子を、広く一般に公開する方法のことです。発表のあと審査員との質疑の時間が設けられていることが一般的です。

#### まちづくりパワーアップ事業・活動支援事業(大津)

- ◇事業開始/2004年度
- ◇助成対象者/まちづくりを行う概ね10人以上の市民団体。
- ◇助成対象事業/市民団体等が主体的に新たに行うまちづくりの活動のうち、国、県および本市等の他の補助制度の対象に該当しないもの
- ◇助成額/100万円まで
- ◇助成率(上限)/3分の2
- ◇助成期間/1年限定だが、新しい事業であれば再度申請が可能
- ◇審査方法/書類審査
- ◇募集時期/4月中旬~5月中旬頃
- ◇問合せ先/大津市政策調整部企画調整課  
TEL.077-528-2701

#### ひとまちキラリまちづくり活動助成(草津)

- ◇事業開始/2001年度
- ◇助成対象者/団体または個人
- ◇助成対象事業/草津市のまちづくりを推進することを目的とした活動
- ◇助成額/1年目は上限10万円、審査で継続が認められた場合は2年目の上限20万円
- ◇助成率(上限)/100%
- ◇助成期間/最長2年
- ◇審査方法/公開ヒアリング
- ◇募集時期/6月頃
- ◇問合せ先/(財)草津市コミュニティ事業団  
TEL.077-565-0477

#### 滋賀県内の主な市民企画公募型補助(助成)金

支援にとどまらないきめ細やかなサポートが行われることが特徴で、助成を通じて団体のネットワークが進み、活動が広がっていくことに期待されています。個人でも申請することができま。

## ② 大津市まちづくりパワーアップ事業

(二〇〇四～二〇〇六年度)

大津市は大津市まちづくり行動計画「大津維新」における重点施策である「協働のまちづくり」を推進するため、市民団体等による主体的なまちづくり活動を支援しようと、二〇〇四年に市民活動団体を対象とした公募型補助金の制度を始めました。

この事業は政策調整部企画調整課が担当する「活動支援事業」と都市計画部まちづくり政策課が担当する「夢実現事業」の二つの事業からなります。「活動支援事業」は、市民団体が地域で新しく取り組む公益性、広域性のあるまちづくり活動を支援するもので、補助額は一事業一〇〇万円まで。「夢実現事業」は、まちの活性化の起爆剤となるようないままでにない新しい企画の実現に対して支援するもので、補助額は一事業で三〇〇万円まで。特に夢実現事業では、みんなが夢を持てるようなインパクトのある事業が求められています。

事業の硬直化を廃するため、当初から三年間の期限付きで始められました。

## ③ りっとうガンバル基金

(栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金)

(二〇〇四～二〇〇六年度)

二〇〇三年二月に「市民活動にかかるとのアンケート」を行った中で、活動を行うための資金面での援助が要望として多かったことを受けて創設されました。

この基金は、団体の成長過程にあわせて、団体の立ち上げ期の基盤整備を目的とした「団体立ち上げ支援」、団体が自立をするために必要な財源確保や事業開発を支援する「自立促進事業支援」、地域の課題解決などに市と協働、連携して取り組むような事業を支援する「協働事業支援」の3つのメニューを持っていて、大津市まちづくりパワーアップ事業がインパクトを求めているのに比べて、こちらが団体が力をつけるよう組織支援に重点が置かれています。

このように企画公募型といっても、補助(助成)制度ごとにつくられた背景や助成の対象、NPOに期待することは異なっています。補助(助成)金獲得のためには、これらをよく理解して、効果的な申請書づくり、プレゼンテーションをすることが大切です。

(笹山)



### まちづくりパワーアップ事業 ・夢実現事業(大津)

- ◇事業開始/2004年度
- ◇助成対象者/まちづくりの提案を行う学生や一般のグループ(市内外を問わない)
- ◇助成対象事業/まちの活性化の起爆剤となるような企画提案を募集してその実現を支援。提案者が事業主体となる場合に必要と認める経費を補助する
- ◇助成額/100万円～300万円
- ◇助成率(上限)/100%
- ◇助成期間/1年だが内容により2年まで可
- ◇審査方法/公開コンペ
- ◇募集時期/4月中旬～5月中旬頃
- ◇問合せ先/大津市都市計画部まちづくり政策課  
TEL.077-528-2770

### りっとうガンバル基金(栗東)

- ◇事業開始/2004年度
- ◇助成対象者/NPO法人またはそれに準ずる団体
- ◇助成対象事業/①団体立ち上げ支援  
②自立促進事業支援  
③協働事業支援
- ◇助成額/①10万円まで②50万円まで③50万円まで
- ◇助成率(上限)/①100%②4分の3③4分の3
- ◇助成期間/①1年限定・1回限り②③最長3年
- ◇審査方法/公開プレゼンテーション
- ◇募集時期/5月中旬頃
- ◇問合せ先/栗東市市民活動推進課  
TEL.077-551-0290

### おうみNPO活動基金(滋賀)

- ◇事業開始/2002年度
- ◇助成対象者/NPO法人またはそれに準ずる団体。滋賀県内に活動拠点または事務所を有すること。
- ◇助成対象事業/①自主事業助成  
②協働事業助成  
③NPO活動支援事業助成
- ◇助成額/①50万～300万円②調査:10万円・実施:50万～200万円③50万～200万円
- ◇助成率(上限)/①75%②75%③95%
- ◇助成期間/最長3年
- ◇審査方法/1次:書類審査・2次:公開プレゼンテーション
- ◇募集時期/9月1日～10月15日頃
- ◇問合せ先/淡海ネットワークセンター  
TEL.077-524-8440

# NPO きらり 輝いています！



●竹生島での研修風景

地域でボランティア活動を広めようと奮闘しているあなた、

新たにNPO活動を立ち上げて

琵琶湖のまわりを走りまわっている君、

「淡海」というフィールドで、静かだけど、

どこか「きらり！」と輝いている

ボランティア活動や

市民活動で活躍されている

NPOの皆さんをご紹介します。

## 学びを活かし、セカンドライフワークを楽しむ 長浜大好き人間

長浜曳山博物館に隣接する間口の広い落ち着いた雰囲気のある町家「四居（よついで）家」。ここが今年四月から長浜観光ボランティアガイド協会（愛称「夙（えり）の湖会」）の活動拠点になりました。

夙の湖会は滋賀県内で初めて設立されたボランティア観光ガイドの会で、今年で活動十二年目を迎えます。長浜城歴史博物館オー



●活動拠点となった湖北観光情報茶屋「四居家」

ブンをきっかけに「長浜を訪れた方に長浜のまちのよさを知ってもらいたい」との市民有志の思いから組織されました。



●長浜観光ボランティアガイド協会発行の「湖北の観光地ミニ事典」を手にする蒲生芳子さん

り、市内を巡る観光レトロバスや北びわこ周遊観光バスへの添乗などで会員はフル稼働。活動範囲は長浜市内に留まらず湖北一円に広がっています。

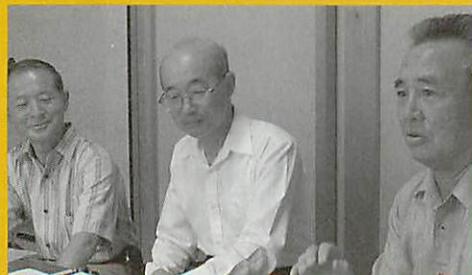
バスに乗りしてのガイドは重労働で「初めての時は、緊張と後ろ向きでの立ちっぱなしという状況でバスに酔ってしまいました」と話すメンバーの中澤さん。「外国のお客さんも増えてきてたいへんです」という伊藤さんは苦勞話しながらもどこか楽しそうです。現在の会員数は五十二名。最高齢はなんと

依頼に応じ添乗ガイドをするほか、休日にはJR長浜駅前案内に立っ

八十七歳！設立当初は女性会員が多かったのですが、最近では、定年を機にまちの役に立ちたい、という思いでガイド養成講座を受講して入会する男性が増えていきます。会長の富岡さんも二〇〇一年の養成講座を受講して入会したそうです。

これからの活動について、富岡さんは「以前は好き寄りのボランティア感覚でもやってこれましたが、事業も増えてきて、事業体としての責任を感じています。団体の運営に資金も労力も必要ですし、組織体制をもっとしっかりしないと」と話します。団塊の世代が定年を迎えるこれから、会員の増強を期待しています。

「長浜大好き人間の集まりなんです」と話すメンバーの皆さん。愛する長浜をみんなに知ってもらいたいという気持ちが活動の源なんです。 (事務局 竹岡久雄)



●右から代表の富岡秀雄さん、伊藤茂治さん、中澤芳一さん

長浜観光ボランティアガイド協会「夙の湖会」

代表 ●富岡秀雄

設立 ●1984年4月

会員 ●52名

連絡先 ●長浜市元浜町14-12

(湖北観光情報茶屋 四居家)

TEL: 0749-65-0370

FAX: 0749-65-0380

**環境**

**社団法人近江八幡市シルバー人材センター  
中古自転車リサイクル事業グループ**



●廃棄自転車の使えるパーツを集めて、2~3台分から1台が完成するという

**放置自転車の再生で  
資源循環型社会をめざす**

近江八幡市の官庁街の一角にある近江八幡市シルバー人材センターに、放置自転車の再生に取り組み、好評を集めているグループがあります。

自転車修理の講習を受けて技術を習得した

田谷三起生さんをはじめとする六十歳代のメンバー五名で、会社勤めを終えて、第二の人生で社会に少しでも貢献したい

とシルバー人材センターに会員登録していました。  
JR近江八幡駅周辺の駐輪禁止区域に放置された自転車は、引き取り手のないまま保管期限の六か月を経過すると、廃棄されてしまいます。これらを市から譲り受けて、ステッカーをはがして、錆をとり、塗料を塗るなど地道な作業を器用にこなして、二、三台の部品から一台を再生します。  
グループが発足してほぼ一年。これまでに再生した自転車は約二百四十台。手頃な値段で、センター内の整備場や「八幡でんびんま



●1台5,000~6,500円で販売中の再生自転車

らなる販路の拡大が課題となっており、息の長い事業として展開して、シルバー人材センターの看板事業としてぜひ成功させたい。そして、中古自転車リサイクル事業を通じて啓発を行い、いずれは放置自転車の無い、マナーの良いまちづくりができればと、期待を寄せています。(事務局 山田光二)

**社団法人近江八幡市  
シルバー人材センター  
中古自転車リサイクル  
事業グループ**

設立●2004年7月  
会員●5名  
連絡先●近江八幡市中村町28-1  
(近江八幡市シルバー人材センター内)  
TEL: 0748-32-1155 FAX: 0748-32-1616



●会員の板倉さん、木村さん、山本さん

**福祉**

**NPO法人宅老所「はな」**

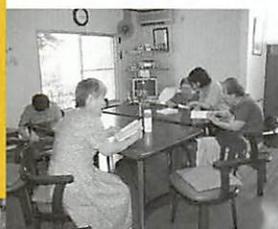
**ひとりひとりの日常に沿ったデイケアで  
自分らしい生活をサポート**

「年をとっても障害があっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしがしたい」という思いは、多くの人に共通するものでしょう。こういった願いを叶えるため「小規模多機能」と呼ばれる施設が地域に生まれつつあります。



●今年の11月にこの場所より手前の平坦な場所に移転する予定

「はな」を開設し、通所介護(デイサービス)を始めました。  
「「はな」は特別な場所ではありません。ここでは利用者が普段と変わらない自分らしい生活を送れるようサポートしています」と、一人ひとりの日常に添ったサービスを心掛けています。制度に縛られることなく



●利用者とスタッフが一緒に歌を歌う様子

自分たちの目指すケアをしようと考えて、開設当初は、介護保険適

用外で事業を行っていたそうです。それでも利用者が少しずつ増えてきた中で、介護保険を使えるようにしてほしいという声が出てきたことから二〇〇一年六月、NPO法人格を取得し、介護保険事業としてデイサービスを提供するようになりました。

現在は通常のデイサービスにとどまらず、利用時間の前後にも利用できる「延長ケア」や、夜間の緊急時に宿泊で利用できる「緊急ナイトケア」といった介護保険では適用されない先駆的な事業も組み入れています。また、三年前からホームヘルパーの資格を持つ知的障がい者を正職員としての受け入れなど、先取の気概あふれるトップランナーとして走り続けています。  
(編集ボランティア 松田達也)

**NPO法人宅老所「はな」**

代表●林淳子  
設立●2000年6月(法人認証2001年6月)  
会員●18名  
連絡先●大津市坂本五丁目26-21  
TEL&FAX: 077-578-6587



●代表の林淳子さん



「ラウンドテーブルしか」世話人

鬼塚 孝治さん

(2期生/アイ・コラボレーションプロデューサー)

地域プロデューサーを志してもう5年。この間「みんなの想いがカタチになる」方法を模索して「制度設計のユニバーサルデザイン」へと、目指すべき方向が見えてきました。

きっかけは未来塾で研究した「ヴォーリス」さん。新しいことにチャレンジして失敗し「へこん」で故郷に帰っても、あきらめずに「どうすれば、みんなの想いがカタチになるか?」、「同情=愛情」をもって10年続ける。続けること、「人生の壁」を乗り越えることの大切さを学びました。

自分を信じて未来を変えてみせると胸に刻みつけながら、小さなことからカタチする。まずは、去年から関わっている協働部活プロジェクトで横断的な環境学習ネットワークの仕組みを実現していきますので、みなさん協力よろしくお願いたします。

※「おうみ未来塾」は、地域課題に取り組むリーダーを目指す人が集う塾で、現在6期生と7期生が学んでいます。これまでに約120人が卒業し、各地で「地域プロデューサー」として活躍しています。

「人生の壁」を越えたい  
「つながり」を目指して

次回は3期生 森嶋利和さん  
(水士里ネット日野川流域)です。

■寄付を増やすためには

第1に情報を発信することです。まず、寄付を集めていることを寄付者に知らせなければなりません。そして自分たちが普段どのような活動をしているのか、何のために寄付が必要なのかをわかりやすく発信することが大切です。

寄付の支払い方法にも工夫がいります。寄付の手続きが簡便であること、寄付の種類・方法・金額を限定しないで多様なメニューを揃えることも増額や継続につながります。

また、寄付を受けた後の報告も重要です。寄付を貰った方がいいがそれっきりで使いみちの報告をしなければ、2回目は期待できないでしょう。そして成果報告とともに、寄付者に対して感謝の気持ちを伝えることも大切です。アメリカのNPOではサンキューギフト(お礼の品)を贈ることが盛んですが、寄付者の満足感を満たし、寄付者の数や額を増やす効果があります。

NPOスタッフと寄付者や支援者の交流会を持つなど、人間関係を育てる場を持つことも有効です。

とにかく寄付者とNPOをつなぐものは信頼と共感です。特にNPOに対する寄付の場合、寄付者は、対価として社会や地域の課題解決に貢献しているのだという満足感を求める傾向があります。この満足感を満たして寄付者の信頼と共感を得ることができれば、きっと今以上の寄付金を獲得することができるでしょう。

寄付の大きな足枷となっている税制も、来年予定されている公益法人制度の改革により変化の兆しが見えてきています。柔軟な発想と工夫で寄付を増やすことを考えてみてください。

(フリーライター 大山純子)

ジの鉄道模型運転コーナーも常設しています。

滋賀県と大津市、びわこビジターズビューロー等との協働で「湖都古都御都n(ことごととん)石坂線~街の電車で訪ねるびわ湖大津の歴史」



▲毎年恒例の錦織車庫「大津線感謝祭」(今年は10月30日予定)

と題して、沿線の文化財を紹介する講座や行事を今夏から来年2月まで実施の予定です。

一方、ISO14001の認証を取得し、京阪石山駅等3駅で線路の緑化に着手、環境にやさしい京阪電車を目指しています。さらに、1時間4往復から8往復へダイヤ改正で利便性を強化し、特典付きの一日乗り放題乗車券「湖都古都・おつ1dayきっぷ」がヒットするなど経営努力が実を結び、減少傾向だった乗客数が昨年増加しました。「今後も、市民やNPOとの協働で楽しいまちづくりに積極的に取り組み、少しでも京阪電車を身近に感じてほしい」との元気な言葉に、石坂線の明るい未来を確信しました。

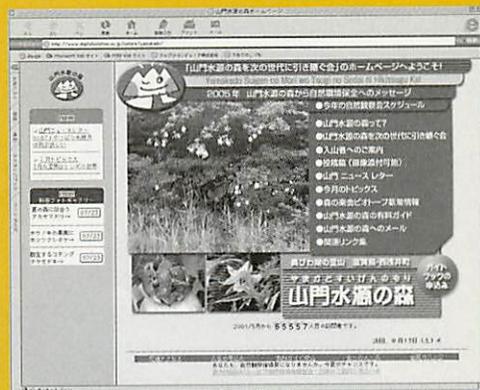
【問】京阪電気鉄道株式会社 大津鉄道事業部  
TEL.077-522-4521 FAX.077-525-8468  
<http://www.keihan-o2.com/>

NPOホームページ探検隊

NPOや市民団体がつくるユニークなホームページを紹介します。

山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

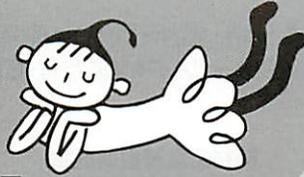
<http://www.digitalsolution.co.jp/nature/yamakado/>



西浅井町最北端の福井県境に近い野坂山地にある山門水源の森は、暖帯のアカガシ林と温帯のブナ林が隣接するなど、大変珍しい植生を誇っており、日本水源の森百選にも選ばれています。このホームページでは、そんな山門水源に生きる植物や昆虫を美しい写真で紹介しているほか、自然観察会や有料ガイドの案内が掲載されています。「山門水源の森」ガイドブックの購入を申し込むこともできます。

# がんばれ!NPO 応援団

市民活動を元気にする情報コーナー



## おみねっと講座

# 寄付を 考える

Vol.3

### 「NPOが寄付を増やす工夫」

寄付意識が高まり、NPOへの寄付が増えることは、NPOの活動にとって大きな力になります。しかし、いくら寄付文化が高まったとしても、待っているだけでは寄付金は集まりません。ではどうすれば寄付金収入を増やすことができるのでしょうか。そのヒントを考えます。

#### ■新しい寄付のかたち

日本において大きな位置を占めてきた共同募金型の寄付だけでなく、近年寄付のかたちは多様化してきています。新しいプログラムをいくつかご紹介します。

大阪コミュニティ財団では、それぞれ独立した複数の基金を一括して管理・運営していて、一市民でも関心のある基金に寄付ができる仕組みを作っています。寄付者は自分が寄付した基金に自由に名前を付けることができ、また基金が生み出す運用収益の使いみちについて、財団に希望や意見を述べるすることができます。

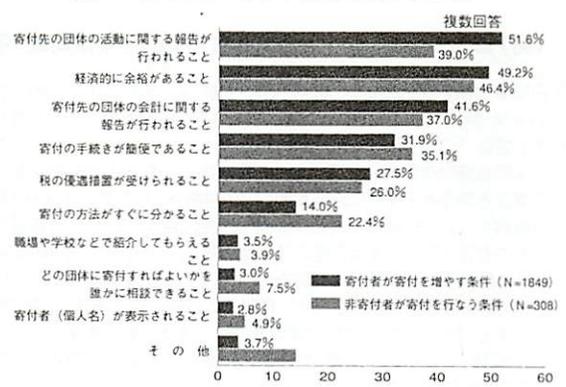
「もうひとつのおかえしプラン」は、冠婚葬祭の「おかえし」をNPOへの寄付に替えるものです。寄付先リストの選定からお返し先へのカード発送など、大阪ボランティア協会がコーディネートしています。

日本の寄付者は名前の公表をあまり好まないと言われますが、東京都の「思い出ベンチ」事業は、公園のベンチに名前やメッセージを刻んだプレートをつける企画が話題を呼び、寄付者が続出した成功例です。

「ビッグイシュー」は、ホームレスが販売する雑誌の購入により手数料がホームレスの収入となるシステムが、「誰かの役にたきたい」という日本人の心にフィットしました。

千葉県市川市は、日本ではじめて個人市民税の1%を納税者が希望するNPOへの助成金とすることができるとの制度（ハンガリー方式とよばれる）を、今年度から導入しました。

図 日本人はどのような場合に寄付をするか



出典:三和総合研究所「NPOに対する寄付とボランティアに関する実態調査」(2000)

# めとてとコラボ

市民と行政、市民と企業などの、新しい市民協働(パートナーシップ)のカタチを紹介します。

## 京阪石坂線と市民やNPO、行政との協働で まちづくりやアート、エコ観光などを発信

..... 京阪電気鉄道株式会社 大津鉄道事業部



▲大津鉄道事業部長の木村浩一さん (50歳)



▲大津・志賀地域まちづくり協働会議の歴史探検マップと湖都古都御都nガイドブック



▲沿線の中学生が出品する「駅舎ギャラリー」



▲勝手に京阪いっさか線学会「でんしゃ de BEER」

ライブをしたり、石場駅に地域住民の協力で花壇が造られたりしています。

2001年、行政と市民による「大津・志賀地域まちづくり協働会議」が発足し、京阪電車石坂線を軸にしたまちづくりが提言されました。そして、沿線の5小学校のアンケートを元に歴史探検マップを作成。「クワガタが採れる」「桜並木がきれい」など子どもたちのおすすめの場所が載っています。「21駅の顔作り」に取り組み、膳所本町駅で膳所高書道班の作品を展示した「Zギャラリー」ほか5駅に沿線の中学生の作品が飾られており、さらに参加校は増加中です。その他、大津高軽音楽同好会が京阪膳所駅前

3年前、石坂線のワンマン化や分社化計画を前にして、「いっさか線は大津の宝だ」と市民応援団「勝手に京阪いっさか線学会」が誕生。以来、安楽好正事務局長を中心に「でんしゃで会議」「おでんでんしゃ」「でんしゃ de BEER」を走らせるほか、CD「いっさか線ブルース」を発売するなど石坂線の新しい魅力を発掘しています。

また、NPO法人HCCグループとの協働で浜大津に昔の賑わいを取り戻そうと、「浜大津こだわり朝市」や改札横に「暮らしっく広場」をオープン。毎週金～日曜日(10時～16時)にコーヒー・クッキー・お茶・梅干・お米等こだわりの食品や鉄道関連グッズを販売するほか、Nゲ

# 11月・12月の掲示板 **情報募集中!** 日時・場所・問合せ先等を明記の上、10月8日までにEメール、FAXまたは郵便でセンターまでお寄せください。

## ● 平成17年度コメリ緑資金助成

助成対象●緑や花に囲まれた美しいふるさとづくりを目的とした、公共性のあ  
る緑化活動で、平成18年4月1日から平成19年3月31日までの活動を対象  
といたします。なお、助成金の贈呈先は法人・団体に限らせていただきます。  
● 公募期間●8月1日(月)～10月31日(月)  
◇ 申込書の入手方法/申込書の書式は、下記のサイトからダウンロードできます。  
申込書を郵便にてご請求される場合は、返送用の角2号封筒(A4サイズ)に返送先のご  
住所・お名前・電話番号を明記し、120円切手とともに、以下の宛先までご郵送ください。  
【問】株式会社コメリ「コメリ緑資金の会」事務局  
〒950-1492 新潟市清水4501-1  
TEL:025-371-4112/FAX:025-371-4151  
URL:http://www.komeri.bit.or.jp/  
e-mail:midori@komeri.bit.or.jp

## ● (財)国際コミュニケーション基金 平成17年度助成・援助募集

内容●☆調査研究助成/国際分野を主軸とし、また、国内も含めた情報通信  
の普及・発展、グローバル化、特に、ユビキタスネットワーク時代を先取り  
する調査、研究(1件300万円まで)。  
☆国際会議開催助成/情報通信の普及・発展に寄与する国際会議。ただし、通  
信事業者等の本来業務に該当するものは対象外とします。(1件100万円まで)  
☆社会的・文化的諸活動助成/情報化社会の動向に即し、情報通信を通じて  
社会や教育等に貢献する各種の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)の活動、  
「草の根」活動。地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)に草の根の各種  
の活動、情報通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業、情報通信の普及・  
発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など。  
● 経常経費(事務所の運営費、当該団体に属する方の人件費等)は助成の対象  
となりません。(1件100万円まで)  
● 募集期間●10月3日(月)～10月20日(木)(必着)  
【問】財団法人国際コミュニケーション基金  
〒163-8544 東京都新宿区西新宿2-3-2KDDIビル29階  
TEL:03-3347-7094 FAX:03-3347-6439  
URL:http://www.icf.or.jp e-mail:info@icf.or.jp

## ● 地域づくり団体の全国ネットワーク形成支援事業

対象となる団体●以下のいずれかの地域づくり団体(いずれも特定非営利活動法  
人(NPO法人)もしくは任意団体)。1)特定のテーマで新たに全国ネットワ  
ークの形成を図ろうとしている地域づくり団体 2)特定のテーマで全国ネットワ  
ークを運営して一層の充実を図ろうとしている地域づくり団体。なお、「全国ネットワ  
ーク」とは、参加団体の所在地が都道府県以上にわたるネットワークのこととします。  
● 対象となる活動●地域づくりにおける特定のテーマに沿った専門的な知識や技能、ノウ  
ハウなどの交流・開発を行うことを目的とした、テーマ別全国ネットワーク形成とその実践の活動。  
● 支援の方法●ネットワーク形成とその実践の活動およびとりまとめ(報告書作成)  
の費用を提供することによって実施します。費用は、活動費と報告書作成費を  
あわせ、原則として150万円を上限とします。● 支援の期間●2005年度内  
● 申込書の提出期限●9月20日(火)(必着)  
【問】財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団  
〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目5-11 新虎ノ門ビル5階  
TEL:03-3586-4869 FAX:03-3586-3823  
URL:http://www.hc-zaidan.jp/

## ● 日本万国博覧会記念基金事業 平成18年度募集

申請対象事業●博覧会の成功を記念するにふさわしい公益的な次に該当する  
活動を対象とします。イ国際相互理解の促進に資する活動(1)国際文化交流、  
国際親善に寄与する活動(2)学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関す  
る国際的な活動(3)自然の保護その他人間環境の保全に関する国際的な活動  
ロ 博覧会の成功を記念するにふさわしい文化的活動(1)日本の伝統文化の  
伝承及び振興活動(2)芸術及び地域文化に関する活動  
● 助成重点事項●健康の維持増進に寄与する活動・地球環境の保全をテーマ  
とする活動・人類の幸せに貢献する基礎的な学術研究に関する活動  
● 提出期間●9月1日(木)～9月30日(金)消印有効  
● 助成額●100万～3,000万円  
【問】独立行政法人日本万国博覧会記念機構 総務部基金課  
〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-1 TEL:06-6876-5581  
URL:http://fund.expo70.or.jp/

## ● 梅村記念基金助成金

内容●梅村記念基金は、梅村尚久氏の志を受けつぎ、市民による国際交流を目的とする  
海外への派遣や海外からの招聘などの立案と実行を奨励するために設置されたものです。  
● 助成の対象●当基金の助成は、市民による国際交流を目的とするすぐれた企  
画のうち次の条件を満たすものを対象とします。  
1.申請者(実施主体)は、原則として非営利の法人であること(ただし、法人で  
ない任意団体、サークル、グループの場合でも、継続的な活動実績があれば申  
請することができます) 2.目的、実施主体、内容、期間が明らかであること 3.  
● 助成決定から1年以内に実施が完了する予定のものであること  
● 助成額●25万円まで 申込受付期間●8月1日(月)～10月31日(月)(消印有効)  
【問】梅村記念基金事務局 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-20-8新和  
ビル4F 株式会社マイチケット内 TEL 06-6304-7800/FAX 06-6304-7989  
URL:http://www.myticket.jp/umekikin00.html  
e-mail info@myticket.jp

## ● (財)損保ジャパン記念財団「自動車購入費助成」

助成対象者●(1)～(3)のすべてを満たしていること  
● (1)福祉活動を行う団体のうち、主として障害者の在宅福祉活動を行う団体。た  
だし、加齢に伴う障害者(高齢者)を除く。(2)西日本地区(中部・北陸・近畿・中国・四  
国・九州・沖縄、ただし、新潟県・長野県・山梨県・静岡県を除く)に所在する団体(3)  
● 特定非営利活動法人、社会福祉法人(主として小規模通所授産施設に限定)の法人  
格取得を目指している団体、あるいは、既にそれらの法人格を取得している団体  
● 助成金額●自動車購入費1件100万円まで(総額1,000万円)  
● 選考基準●(1)原則として購入予定自動車の車両購入価格は助成金額の2倍(200  
万円)以下であることとします。なお、車両購入価格とは諸費用を含まない本体価格と  
します。(2)将来展望を持ち先駆的な活動を行っている団体、活動実績のある団体、団  
体所有自動車を保有することで、活動・サービスの充実が見込まれる団体を優先  
● 応募方法●所定の申込書に内容記載のうえ、財団事務局に郵送してください。  
● なお、応募要領・申込書のご請求は下記財団事務局までFAXでお願いしま  
す。申込書は、下記のサイトからダウンロードできます。  
● 募集期間●9月1日(木)～9月17日(土)まで(当日の消印有効)  
【問】財団法人損保ジャパン記念財団(旧安田火災記念財団)  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル37階  
TEL:03-3349-9570 FAX:03-5322-5257  
URL:http://www.sompo-japan.co.jp/foundation/

## ● 新刊書籍案内

「地域力を高める これからの協働  
ファシリテータ育成テキスト」  
今川晃・山口道昭・新川達郎編  
(第一法規)2,500円



人々の生活が多様化する中で様々な社会問題が顕在化し、もはや自治体は  
住民やNPO、企業等と外部との協働なしに問題を解決することはできなくな  
っています。本書では、協働を進めるために、議論や合意形成の場をマネジメント  
するファシリテータの存在が重要であると説いています。自治の担い手となるべ  
きNPO、行政、議会などの人材にとって、協働にかかる網羅的なテキストとしてオ  
ススメです。

## ● 滋賀会館シネマホール 9・10月の上映予定

|                              |                                      |
|------------------------------|--------------------------------------|
| 『ウィスキー』<br>9月21日(水)～10月2日(日) | 『海を飛ぶ夢』<br>10月1日(土)～8日(土)            |
| 『エレニの旅』<br>9月14日(水)～9月30日(金) | 『50回目のファースト・キス』<br>9月27日(火)～10月8日(土) |
| 『マルチュク青春通り』<br>9月24日(土)～     |                                      |

## ◆ リクエスト受付中!

● 各回入替制  
● 料金は作品名によって異なります  
● 上映してほしい作品名と住所、氏名、  
● 毎週水曜日1,000円均一サービス  
● 電話番号を記入の上、ハガキ、ファッ  
● 毎週木・金曜日の初回&  
クス、または電子メールで滋賀ネット  
16:00以降の回1,200円均一サービス  
ワークセンターまでお送りください。 TEL:077-522-6191  
● 滋賀会館シネマホール



# 行って来て見て 情報BOX 9・10月

ここに掲載できなかった情報はセンターホームページに掲載しています。http://www.biwa.ne.jp/ohmi-net

## イベント

### びわこネイチャーゲーム自然学校

▶ 9月24日(土) 10:15~9月25日(日) 14:30

内容●大人も子どもと一緒に自然の中でいろいろな体験活動を行います。川遊びやナイフ・ハイクン、草木染め、クラフトづくりなど。家族参加大歓迎。

場所●大津市立葛川少年自然の家

参加費●4,500円

◇お問い合わせください。募集要項を送ります。

【問】滋賀県ネイチャーゲーム協会  
TEL:077-554-3025

URL:http://homepage2.nifty.com/shiga-naturegame/

## 勉強会・交流会

### 第20回 医をめぐる勉強会「がんが与えてくれた幸せ」

▶ 9月11日(日) 13:30~16:30

内容●医をめぐる勉強会では、毎回、様々な立場で医療に関する専門的なお話をさせていただくゲストにおいでいただいています。知識もその人の想いも、まず「知る」ところから理解が深まります。でも、直接、その声を聞く機会は限られています。お気軽においでになって、その声を聞いてみませんか。

ゲスト●結城富美子氏(がん患者と家族の会「かざぐるま」代表)

場所●大津市生涯学習センター4階視聴覚室

参加費●非会員1,000円、会員500円【当日参加可】

【問】医をめぐる勉強会・中島

TEL:0748-83-0924

URL:http://www.5a.biglobe.ne.jp/~y-kaze/iomeguru.htm

e-mail:y-kaze@mte.biglobe.ne.jp

### スライド講演会

#### 「ノイシュヴァンシュタイン城の謎を解く…ルートヴィヒ二世とワーグナー」

#### 「2005/2006 Deutschland in Japan 日本におけるドイツ」参加企画

▶ 10月10日(祝) 13:30~

演題●「バイエルン王ルートヴィヒ二世とその王宮はワーグナーと自然からどれほど影響を受けたか。」

講師●マルクス・シュパンゲンベルク(ドイツ、レーゲンスブルク在住/美術史家、ジャーナリスト、バイエルン王ルートヴィヒ二世の研究者)

場所●栗東芸術文化会館さくら 小ホール

聴講費●1,500円

賛助出演●びわこアーベントロート

合唱団 指揮:辻敏治

ピアノ伴奏:若代敦子

主催●NPOシニア自然大学・バーゼル・クラブ

【問】スライド講演実行委員会(松本郁子)

TEL/FAX:077-586-4657

e-mail:matsuiku@nifty.com

### 登校拒否・不登校を考える大津・湖南交流会

▶ 10月22日(土) 14:00~17:00

会場●教育文化会館(大津市朝日が丘1-11-3) JR大津駅から徒歩6分

内容●お話し(14:00~15:00)

「不登校の理解と支援のために~親の立場から支援」

福本早穂さん(親子支援ネットワーク「トあんだんて」)代表

交流会(15:00~17:00)

参加費●500円

◇事前の申込はいりません。

【問】登校拒否・不登校問題滋賀県連絡会

TEL:090-7762-9431(山田)

## 参加者募集

### しがチャイルドライン 受け手養成講座2005

内容●友達との関係に悩んでいる子どもたち、親や先生の期待に応えようと苦しんでいる子どもたち。その子どもたちの声に耳を傾け、気持ちをしっかりと受け止めることが、子どもたちのエンパワメントにつながると

私たちはチャイルドラインの役割を実感しているところです。子どもたちから信頼されるチャイルドラインを目指して、今年も電話の受け手を養成する講座を下記のように開催します。【全講座託児有/要申込】

日時・テーマ●

☆9月19日(祝) 10:00~11:00「チャイルドラインとは」

11:10~13:00「さあ!自分探しの旅に出かけよう」

14:00~16:00「DVや虐待の中にある子どもたち」

☆10月1日(土) 10:00~12:00「今こどもたちは(仮)」

13:00~16:00「自分の身体について知ること

は子どもの権利」

☆10月2日(日) 10:00~12:00「思春期の子ども心の動き」

13:00~15:00「発達障害って何?」

☆10月10日(祝) 10:00~16:00「電話を受けるための研修」

会場●生活協同組合コープしが本部

コープ膳所2階会議室

費用●7,000円(全講座通し・学生4,000円・保険料含)

定員●70名

託児●要申込1日500円(おやつ代・保険料含)

★特別講座

11月6日(日) 14:00~16:30

会場●大津市立立労青少年ホーム

(大津市打出浜)

「子どもの心をノックする一命の授業~地域・学校・家庭で育てたい生きる基礎力~」

講師●金森俊朗(金沢市立西南部小学校教諭)

※参加費が別途必要です。

【問】NPO法人CASN(カズン)

TEL/FAX:077-537-5922

e-mail:info@casn.org

### 甲賀地域レール&ウォーク ~あなたも忍者になれる 忍者遊びをしよう~

▶ 10月2日(日) 9:00~16:00

内容●手裏剣投げ、忍者のように壁の前から突然消えたり、壁の前に突然現れたりするどんでん返し、縄はしこ、屋根つたい歩きなどユニークな「忍者遊び」の数々。大人も子どもも楽しめます。昼食には、さすけ御飯とさすけ汁を用意しています。

お土産に葉草入りの忍者健保茶がもらえます。

行程●JR甲南駅集合。

甲賀忍者・伊賀忍者の道、伊賀街道

をウォーク(小雨決行)

定員●100名(先着順)

参加費●500円

持ち物●水筒、敷物

【問】NPO法人甲賀文化輝き

TEL/FAX:0748-86-8066

e-mail:cocomatusima@mcv.zaq.ne.jp

### ネイチャーサポーター (個人・団体) 募集!

内容●ハイキングや自然観察など自然とふれあひながら、環境美化活動(清掃、草刈など)や歩道など施設の点検や小さな修繕を行います。また、自然と人とのかわり方など自然への想いを、みんなで語り合います。

※活動期間は、平成17年度、18年度の2年間の予定です。

参加の条件●小学生から参加は可能。小中高生は大人の同行が必要。

その他●申し込みは下記問合せ先まで。随時、受付を行っています。活動場所までの交通手段は、確保願います。また、交通費については自己負担です。

◇12月4日(日)に意見交換会を行います。

【問】滋賀県自然環境保全課

自然公園・野生生物担当

TEL:077-528-3487 FAX:077-528-4846

URL:http://www.pref.shiga.jp/d/shizenhogo/

e-mail:dg00@pref.shiga.lg.jp

## 助成金情報

### 「OSAKA NPOアワード2005」エントリー団体募集!

~あなたの声か人の心を動かし、社会を変えます!~

内容●社会への発信力を強化するため、NPOによる「表現力」の向上を目指す「第9回市民活動発表会」を開催。書類審査で選ばれた7団体に本審査(プレゼンテーション)に臨んでいただき、グランプリを決定します。今後の成長が期待される団体には「奨励賞」を授与。あなたの団体の「強み」を伝える活動発表をお待ちしています!

対象●全国のNPO・NGO(市民活動団体)

応募締切●9月15日(木)

エントリー料●2,000円

※募集要項、応募用紙は下記のサイトからダウンロードできます。

賞●グランプリ30万円 優秀賞10万円 奨励賞5万円

【問】NPO法人大阪NPOセンター TEL:06-6460-0268 FAX:06-6460-0269

URL:http://www.osakanpo-center.com/

e-mail:info@osakanpo-center.com

### 第2回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)

【精神障害者部門】ご自身の自立または地域社会でほかの精神障害者の自立支援活動を、1年以上にわたって行っている方

【福祉活動部門】共同作業所・地域生活センターなどで、精神障害者の社会参加を支援する活動を1年以上にわたって行っているグループ(医療・福祉およびボランティア団体)や家族(会)

【地域医療部門】精神障害者の地域における生活支援活動を1年以上にわたって行っている医療福祉従事者またはグループ ※法人格の有無は問いません。

副賞●100万円 募集締切●9月30日(金)消印有効

【問】精神障害へのアンチスティグマ研究会「リリー賞」募集事務局

住所:〒650-0034 神戸市中央区京町74 TEL:0120-392-993

URL:http://www.schizophrenia.co.jp/CACHE/szd/index\_page\_index.cfm

### 第9回「地球倫理推進賞」

応募資格●その活動が営利を目的とせずに、5年以上継続していること。

またその活動内容が、(1)自然環境の保全・再生に(2)地域の浄化・美化に(3)教育・文化の推進に、民族・習慣を超えて貢献していること。(自薦・他薦を問いません)

応募要領●A4判野紙に横書きで、団体(組織)名、代表者名、住所、電話番号、設立年月日、活動内容及び実績(ビデオ、パンフレット、冊子等資料添付可)を、募集事務局宛に郵送してください。表彰●一団体につき賞状・活動援助金100万円を贈呈

応募締切●10月15日(土)消印有効

【問】〒101-8385 東京都千代田区三崎町3-1-10(社)倫理研究所「地球倫理推進賞」事務局

TEL:03-3264-2279(代) URL:http://www.rinri-jpn.or.jp/index-s.html

e-mail:kouhou@rinri-jpn.or.jp



## 「おうみ市民活動フォーラム2005」 市民活動PRコーナー・出展団体を募集

地域で活躍するNPOや市民の活動を紹介する催しです。市民活動への理解や参加のきっかけづくりとして、また、活動団体相互の交流が深まる機会として、「おうみ市民活動フォーラム」に出展してみませんか。自分たちのグループやNPOの活動を、PRコーナーで発表しましょう！

◆開催日時：

11月19日(土) 10:00~16:30  
20日(日) 10:00~15:00

◆会場：ひこね市文化プラザ(彦根市野瀬町)  
メッセホール、研修室、他

◆募集の内容：市民活動団体やNPOが、自らの活動を紹介・発表する企画出展を募集します。例えば、パネルや活動に関する作品などの展示、活動に関連した体験プログラムや実演、ステージ発表など、原則として出展形態は問いません。ただし、出展の形態によっては出展日や出展時間が制約される場合があります。「パネルや作品の展示のみ」の場合を除き、事前に電話等でご相談ください。

◆申込期間：9月1日(木)~9月30日(金)

◆申込方法：所定の出展申込書に必要事項を記入のうえ、郵送またはFAXで申し込んでください。出展申込書は、下記まで請求いただくか、淡海ネットワークセンターのホームページからダウンロードしてください。

■申込・お問合せ先：

おうみ市民活動フォーラム2005実行委員会  
(全体事務局) 淡海ネットワークセンター  
(彦根事務局) ひこね市民活動センター  
〒522-0061 彦根市金亀町7-5 (ヴォーリス洋館)  
TEL.0749-24-4461 / FAX.0749-24-4461

## 「市民活動・NPOのための労務・税務講座」

淡海ネットワークセンターではスタッフの雇用や収益事業を行う市民活動・NPOを対象とした労務・税務講座を開催します。質疑の時間も設けますので、ふるってご参加ください。

◆開催日時：9月8日(木) 13:30~16:20

◆会場：野洲市中央公民館2階第2講座室

◆講師：〔労務〕平野義夫さん(社会保険労務士)  
〔税務〕横井昭次さん(税理士)

◆募集定員：30名

◆参加費：1,000円

◆申込方法：〔氏名・所属・電話・FAX・Eメール・講座への希望〕を記入のうえ、郵送・FAX・Eメールでお申し込みください。

【問】淡海ネットワークセンター

## 淡海ネットワークサロン 「京阪電気鉄道の地域活動～ NPO法人HCCグループとの取り組みより～」

さまざまな地域活動を行う京阪電気鉄道の活動と、「浜大津こだわり朝市」を行うHCCグループとの協働の取り組みの紹介を行います。

◆開催日時：9月18日(日) 13:30~15:00

◆会場：京阪浜大津駅改札となり「スカイサーカス」  
(浜大津/バスターミナル2階)

◆ゲスト：京阪電気鉄道株式会社 木村浩一さん  
NPO法人HCCグループ 末富孝也さん

◆定員：20名程度

◆参加費：300円

【問】淡海ネットワークセンター

## 熱人談義番外編・淡海ネットワークサロン 「ヴォーリス記念館を訪ねて」

今津ヴォーリス資料館でさまざまな地域活動やイベントを行うアクト21企画の取り組みを訪ねます。

◆開催日時：9月24日(土) 13:30~15:30

◆会場：今津ヴォーリス資料館

◆ゲスト：白坂登世美さん(アクト21企画)

◆定員：20名程度

◆参加費：500円

◆主催：NPO市民熱人

◆共催：淡海ネットワークセンター

◆申込・問合せ先：NPO市民熱人・阿部

FAX: 077-522-2997

e-mail: yoshi-ab@mx.biwa.ne.jp

## 淡海ネットワークサロン 「ふるさと淡海・地域マングラ!ー「心象 図法」で郷土の自然と暮らしを描くー」

地域の自然と人間の暮らしに関する物語を聞き取りして一枚の絵図にあらわす「心象図法」の取り組みをワークショップで体験し、絵図に描かれた高島の集落を実際に訪ねます。

◆開催日時：10月1日(土) 13:00~16:00

◆会場：高島市「環の郷」交流・研究センター

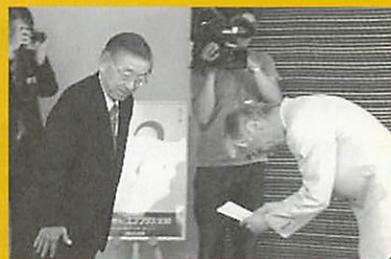
◆ゲスト：上田洋平さん(琵琶湖湖生活圏人と地域研究所)

◆定員：20名程度

◆参加費：300円

【問】淡海ネットワークセンター

## おうみNPO活動基金に 1,102,962円を寄付



このたび、株式会社滋賀銀行様より、NPO活動支援のための「おうみNPO活動基金」に1,102,962円の寄付をいただくことになり、去る6月20日に寄付金の贈呈式が行われました。

貴重な浄財をお寄せくださいました、株式会社滋賀銀行様に対しまして深く感謝申し上げます。

## 編集後記

個人的には宅老所「はな」さんを見学するのも3回目です。その度に新たな課題を見出し、それに向かって一歩ずつ前進しておられるのには感服する思いです。近々、建物も新築し事業を拡充されるとのこと。また大輪の「はな」が咲くことを祈念しています。  
(編集ボランティア 松田)

子どもの頃、親から買ってもらった自転車。大変うれしくて宝物のように手入れを欠かさずに大事に使っていた。「放置自転車」、そんな言葉が当たり前のようになってるのは残念です。マターイさんの「MOTTAINAI」をもう一度私たちの心に。そんな思いを持ちました。  
(事務局 山田)

長浜観光ボランティアガイド協会の取材で、「会員を増やすのは、団塊の世代の人の定年に期待して・・・」と言われ、あ！自分もそうだと。同世代の皆さん、一生青春の行動力、期待されてますよ。  
(竹)

## 11月号のアンケート

アンケートにご回答いただける方は、性別・年齢をご記入の上、ハガキ、ファックスまたは電子メールで下記までご送付ください。住所・氏名をご記入いただいた方には抽選で粗品をプレゼントいたします。アンケート締切：9月末日

Q1/あなたは何か社会に役立ちたいと思いますか？

a.はい b.いいえ c.わからない

Q2/どんなかたちで社会に貢献したいですか？

a.寄付 b.市民活動(NPO&NGO) c.ボランティア

d.自治会 e.その他

Q3/あなたが一番関心のあるテーマは何？

a.環境 b.福祉 c.国際協力 d.防災 e.教育文化 f.その他

Q4/今後、地域の問題を解決するキーワードは？

a.助け合いの心 b.行政と市民の協働 c.コミュニティビジネス d.道徳心の教育 e.その他

Q5/社会のために“わたしにできること”って何だと思いますか？

※淡海ネットワークセンターが本誌上を通じて募集する講座等の申込やアンケートの回答に際して記入いただく個人情報については、下記の目的以外に利用しません。また、個人情報を第三者に提供することはありません。アンケートについては集計処理した結果のみ公表することとし、個人の回答内容について公表いたしません。

- ・講座等の開催にかかる連絡
- ・講座等の企画
- ・アンケートの集計・分析
- ・アンケート回答者に対する抽選・粗品の送付

## 淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442

■http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net

■E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時●月曜日と祝日の翌を除く毎日(12/29~1/3を除く)

火~金曜日/9:00~19:00 土・日曜日、祝日/9:00~17:00

●淡海ネットワークセンターの情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。

・各地域振興局、県民情報室、県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、さきさきホール、滋賀銀行、滋賀県信用組合、郵便局(ボランティア貯金窓口)、公民館など



©無断転載を固くお断りします。

